

平成22年4月1日

平成22年度東京都立中野工業高等学校 学校経営計画（定時制）

東京都立中野工業高等学校長 三神 幸男

1 目指す学校

生徒の適性や興味・関心に応じた工業教育を行う総合技術科の特色を生かして、生徒一人一人の自己実現に向けて、職員が一丸となって取り組む学校を目指す。

- (1) 基礎・基本の定着を図り、学習への興味・関心を高める授業を行う学校
- (2) 「ものづくり教育を通じた人づくり」を推進し、自ら課題を見付け、その解決に向けて進んで取り組む生徒を育てる学校
- (3) 生徒が望ましい勤労観、職業観を身に付け、社会人・職業人として自立していくことを支援する学校
- (4) 自分自身を大切にするとともに、家族や友人を自分と同じように思いやることのできる生徒を育てる学校
- (5) 資格取得や検定等に積極的に取り組み、より高い目標に向けて努力する生徒を育てる学校
- (6) 保護者・地域から信頼され、保護者・地域と一体となって教育が推進できる学校

2 中期的目標と方策

(1) 目標

新学習指導要領に対応した教育課程を編成するとともに、施設・設備の改修についての検討を行い、本校ならではの特色、個性を打ち出した学校づくりを進める。

(2) 方策

新学習指導要領に対応した教育課程について、調査・研究を行い、新教育課程編成に向けた準備を行う。

施設・設備の改修について、関係部署との調整を図りながら検討するとともに、校内にプロジェクトチームを設置し、学科改編を含めた検討を進める。

地域との連携を深め、地域から支持される学校づくりを推進する。

3 今年度の取組目標と方策

(1) 教育活動の目標と方策

ア 学習指導 <分かる授業の一層の充実>

基礎・基本を定着するための取組を組織的に行う。

生徒が学ぶ楽しさを味わう授業を工夫し、学習意欲の向上を図る。

個に応じた指導を工夫し、生徒一人一人にきめ細かい学習指導を行う。

- イ 進路指導 <生徒一人一人の能力を伸ばし、自己実現を支援>
 - キャリア教育の全体計画に基づき、進路指導や体験学習等の取組を進める。
 - 生徒が自己理解を深め、自己有用感がもてるように、教育相談体制、インターンシップ、資格取得、学校行事等を充実させる。
 - 進路の実現に向けた学力や技能を身に付けさせる。
- ウ 生活指導 <基本的な生活習慣の確立と規範意識の醸成>
 - 遅刻・欠席等の防止に向けて、組織的に取り組む。
 - 日常の指導を通して規範意識を高めるとともに、人権尊重の態度を養う。
 - あいさつの励行、高校生としてふさわしい身だしなみなど、公共のマナーを向上させる指導を行う。
- エ 特別活動・部活動 <学校行事・部活動・生徒会活動の活性化>
 - 学校行事、生徒会活動等を通して、生徒が学校への帰属意識を高められるようにする。
 - 部活動や生徒会活動を活性化させ、生徒の主体的な活動を促す。
- オ 健康づくり <健康教育、安全教育の推進>
 - 保護者との連携を十分に図り、心の教育、安全教育、健康教育、食育等を推進し、生徒の健全育成を図る。
 - スクールカウンセラーをはじめ、専門家の協力を得て、教育相談の充実を図る。
 - 給食指導などを通して、食育を推進し、心身の成長や健康の保持増進を図る。
- カ 募集・広報活動 <本校の教育のよさを紹介>
 - 中学生を対象とした授業公開、一日体験入学、学校説明会を充実させる。
 - 小中学生を対象としたものづくり教室を実施する。
- キ 学校経営・組織体制 <都民に信頼され、地域に支持される学校づくりの推進>
 - サービスの厳正に期するとともに、保護者や地域住民との接遇マナーに心がけ、都民・地域から信頼される学校づくりを行う。
 - 都立学校情報セキュリティ対策基準を遵守し、個人情報の管理を徹底する。
 - 自律経営推進予算を適正かつ効果的に活用し、教育内容や教育環境の充実を図る。
 - プロジェクトチームを編成し、新学習指導要領への対応を踏まえ、施設・設備の改修について検討を進める。

(2) 重点目標と方策

ア 学習指導

- 授業の出席率 85%以上を目指す。
- 進級率 80%以上を目指す。
- 課題研究の成果発表会を充実させる。
- 都立学校ICT計画で導入された機器等を活用して、分かる授業を推進する。
- 資格取得や検定等の合格を目指す指導を充実させる。

(資格等の例示)

基礎製図検定、機械製図検定、危険物取扱者丙種、危険物取扱者乙種第4類、
情報技術検定2・3級、計算技術検定2・3・4級、ガス溶接技能講習、
有機溶剤取扱主任者、特別化学物質取扱主任者、実用英語技能検定

イ 進路指導

進路決定率90%以上を目指す。

進路相談、個人面談、進路ガイダンスを充実させる。

ウ 生活指導

きめの細かい生活指導や支援を行い、中途退学率を20%以下にする。

スクールカウンセラーを活用し、相談体制を充実させる。

エ 特別活動

各学校行事の出席率80%以上を目指す。

部活動の参加率を高める。

オ 健康づくり

給食指導や保健指導に組織的に取り組み、健康的な生活習慣の確立を図る。

カ 募集・広報活動

小中学校の教員を対象とした実習見学会を年2回実施する。

webページを充実させ、本校の教育活動を都民に広く情報発信し、応募者の拡大を図る。

キ 学校経営・組織体制

生徒による授業評価を年2回以上実施し、それをもとに校内研修を実施する。

施設・設備の改修計画を具現化する。

学校図書館の充実を図り、計画的な読書指導を推進する。

地域の行事や催物に参加し、地域との交流を深める。